

移住者の権利キャンペーン 2020
「ここにいる koko ni iru.」 賛同企画

シンポジウム・交流会

すでに10年前に、急増する結婚移住者のための「多文化家族支援法」が制定された韓国。移住女性も #MeToo 運動で自ら声を上げていると聞きます。多文化政策下の韓国の実情を、移住当事者、支援者に生の声で語っていただき、参加者との交流会では、日本のあるべき移住女性支援政策を探ります。

日時：2018年5月13日（日）

午後1時30分～4時30分

場所：上智大学四谷キャンパス

2号館 4階 415

東京都千代田区紀尾井町7-1

JR 中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線・南北線、
四ツ谷駅から徒歩5分

●韓国からのゲスト・スピーカー

- ・瀧由加利（ソウル地域出入国移民者ネットワーク会長）
- ・安順花（センガクナムBBセンター代表）
- ・馬上弘子（ドキュメンタリー監督）
- ・許呉英淑（韓国移住女性人権センター代表）

参加費： 無 料

共催：

- アジア女性資料センター
- 移住者と連帯する全国ネットワーク女性プロジェクト
- 科学研究費プロジェクト「移住女性の『新移民コミュニティ』活動と社会的資本に関する国際比較研究」研究会（代表者：李善姫）
- 上智大学グローバルコンサーン研究所

問い合わせ先：

Tel: 03-3780-5245/ Fax: 03-3463-9752

(NPO アジア女性資料センター)

移住女性支援の取組みから学ぶ 韓国の「多文化政策」と

